

2008 年度春の三者総会 議事録

2009 年度三者事務局校・大阪大学

2009 年 3 月 29 日

於：立教大学院池袋キャンパス ZC 会場

1 2009 年度三者センター校（金沢大学）-予算案

三者センター校より 2009 年度三者予算の修正案が提出され、この修正予算案が承認されました。主な修正点は次の通りです。

修正項目	修正後	修正前
三者センター校申請額	3,000	15,000
原子核パート準備校申請額	15,000	16,000

2 繰越金の扱いに関して

三者若手の予算には繰越金が前年決算額で 1,653,948 円存在します。この点について基礎研への補助申請時に指摘を受け、繰越金についての適正額について議論するように求められたとの報告が三者センター校からありました。

出席者数の少ない本総会では具体的な意見形成を行うことはせず、三者センター校と出席者同士の意見交換のみが行われました。以下はその要約です。

三者センター校からの提案： 主に学生への旅費補助を従来より多く出すことで、数年かけて繰越金を減らしていくというのはどうか。（議案書 P.2 参照）

出席者： なぜ繰越金が 150 万円では問題なのか？

三者センター校： ここ数年は援助団体から毎年 95 万円の援助金を頂いているが、この額よりも多くの繰越金が存在しているというのはおかしい。

三者センター校： また繰越金は、援助団体からの援助金を頂く前の出費に対応するために必要となるが、その額は夏の学校の準備期間の出費としての 80~100 万円である。残りの出費は主に学生の旅費補助であるが、これは援助団体からの援助金を頂いてから処理する。よって 80~100 万円程度の繰越金があれば、十分運営ができる。

出席者： 援助団体からの援助金を頂けなくなった場合のために、繰越金はある程度必要なのではないか。それが 1 年分の予算より多いのならば問題だが、今はそうではない。

三者センター校： 夏の学校等の趣旨を考えると援助金を頂けないという可能性は低いだろうし、万が一頂けなくなった場合は参加費を上げる等の対策をとれば良いだろう。

出席者： 万が一援助金を頂けなくなった場合に、とりあえず 1 年は例年通り運営できるように、1 年分の援助金（今年度は 95 万円）に相当する額は繰越金があった方が良いのではないか。